

グローバルCOE「生体シグナルを基盤とする統合生命学」  
平成22年度大学院講義 新国際基盤生命学特論2（コース4）

**Prof. Hugh Rosen, M.D., Ph. D.**

**Department of Chemical Physiology,  
The Scripps Research Institute,  
California, U.S.A**



## **Calming cytokine storm: S1P signals that enhance survival in pandemic influenza**

日時：2010年12月3日（金）11:00～12:00

場所：医学部教育研究棟13階 第5セミナー室

※コース4はもう一人の講師と現在交渉中です。  
近日中に実施するかどうかも含めて掲示するので注意のこと。

成績評価：レポートにより判定します。

これまで実施した3コース、本コースのうち2つについてレポートを提出。

※今回は実施直前の通知となったため、出席は評価に使用しません。

レポート課題：講演の要点と感想をA4レポート一枚にまとめる。

提出期限：12月17日

提出先：題名「新国際基盤生命学特論2（Rosen博士）」としてメールで下記宛先へ。

gCOE 講義係 <gcoe\_lec@biol.s.u-tokyo.ac.jp> (3日以内に返信がなければ再度確認のこと。)

レポート担当教員：柳澤 春明 生物科学専攻分子生理学研究室（内線 24427）

責任者：武田洋幸（理学系研究科生物科学専攻）htakeda@biol.s.u-tokyo.ac.jp（内線 24431）